

## 次年度の50周年記念行事を目指して



本校は、来年度50周年記念の年を迎えます。

初代校長の倉田 宏蔵先生(昭和47年～昭和51年)をはじめとして、私の前任である大山 紀子先生(平成30年～令和3年)まで14代の校長先生方が国立第七小学校のリーダーとして、当時の児童や保護者の方、地域の皆様に支えられながら、50年もの歴史を綴ってきておられます。

縁あって、国立第七小学校の第15代の校長となった私にとっても、とても誇らしく、この大切な七小の子供たちや保護者の皆様、地域の皆様と一緒に、50周年の年を私らしく、座右の銘である桜梅桃李(それぞれがそれぞれで輝く生き方)の精神で、更に発展させていくことができるように努めていこうと決意をし、先生方と様々に検討をしているところです。

先日の10月30日の土曜日には、前任校の多摩市立豊ヶ丘小学校の10周年記念式典に出席してまいりました。前任校は、統廃合を行い、新しい学校としてスタートをして、今年度が10周年の佳節の年でした。

都内や全国の小学校でも珍しい、学校敷地内の学校林(開校前後は自然林と呼ばれていましたが)をもつ学校であり、ESDを推進する市の政策の下、17項目のSDGsの中から目指すゴールを定めて取り組んでいる学校です。自然環境に対する学びはもちろんのこと、よりよい地域作り等も総合的な学習の時間として展開し、地域の伝統や文化等も大切にしていける地域と密着した学校でもありました。

式典の当日は、コロナウイルス感染症拡大防止の観点から出席者も絞られており、市長をはじめとして、教育委員会、市議会、学校運営協議会、歴代校長、校長会の代表の方、地域の代表の方等、50名未満の出席者でした。学校からは、5・6年生の児童、現在在籍の教職員が出席し、コンパクトでシンプルな周年式典となっていました。

本来の状況であれば、もっと多くの方が参加されたであろうと思われそうですが、この社会情勢下でよく検討をされ、とても厳かな、周年を祝う空気に満ちた式典でした。開催時間についても1時間未満で、感染症対策の徹底がなされていました。子供たちにおいては、式典の間は、出席者としての位置付けで、児童の発表においては、映像化した周年を祝う子供たちの言葉や様子が編集されたものが流され、それを児童の発表としていました。

これまでと違った周年式典であり、新しい生活様式や感染症対策の下に行われた、新しい形式の周年式典となっていました。本校の50周年記念の様々な取組においても、前任校のような対応を検討し、これまでの50年をお祝いする気運に満ちたよりよい取組としてまいります。

## 通学路点検を終えて

11月1日(月)に本校の通学路における道路や標識などの状況を確認し、改善や要請等を行うための点検を、市の担当者、立川警察、PTA環境部、学童の代表の方、生活指導主幹、副校長と私で実施いたしました。日頃、通勤や出張等で通学路を歩いているのですが、子供たちの視線を意識しながら一つ一つ丁寧に歩いていくと、道路に直に描かれている表示や白線等が消えかけていたり、ほとんど分からなくなっていたりと、意識をしてみることの大切さを改めて感じました。

また、本校の周りは、自動車や自転車等、多くの交通手段により使用されていることもあり、表示にしても劣化していくのが速いところも多いように思いました。更には、細い路地から次の道に曲がる場所では、植物の成長により見えにくくなっているところやカーブミラーが付いていたとしても見る人によっては分かりづらいところ等、全ての人に安全であるとは限らないこともよくわかりました。交通安全を目指した交通ルールは、全ての人の安全を考慮して作られていることから、どの人も交通ルールを守ることが大前提ということであり、「自分の身は自分で守る」ためにも、先ず自分が交通ルールを守ることが必要であると



実感しました。これまで、見守り会の方をはじめ、地域や保護者の見守りにより、大きな事故無く過ごすことができています。感謝を忘れず、自分たちが率先して、交通ルールを守る第七小学校の子供たちに育てていきたいと思えます。

## 本校の特別支援教育における特別支援学級の紹介

前号の校長室便りNo.6では、特別支援教室「はばたき」と「ことばの教室」の紹介をさせていただきました。この2つの教室は、「はばたき」のように本校の児童に本校で指導をしたり、他校に先生方が出張をして他校の児童を指導したりする形と「ことばの教室」のように本校に通ってきてもらう形の2つの通級指導の形態で行っています。

今回紹介をする特別支援学級「くるみ学級」は、本校に在籍する児童として、本校に通学をし、くるみ学級の教室で、毎日指導を受けたり、学んだりしながら過ごす学級です。学級としては二組あり、今年度、くるみ1組は、1年生の児童だけの学級で、くるみ2組は、2年生以上の児童が在籍する学級となっています。

くるみ学級に通っている児童は、人と人とのコミュニケーションや集団行動等で情緒的な対応が苦手な児童や場面に応じた行動が難しい児童等、それぞれの特性があり、一斉指導も行いますが、様々な学習形態を取りながら、個に応じた指導になるよう工夫した取組を展開しています。

学習をする時には、各組で学習することはもちろんのこと、1組と2組が合同で授業を行ったり、グループ編成をして学習活動をしたりしながら、児童一人一人に必要な力を身に付けさせるための指導を行っています。また、各学年で学ぶ教科等については、各児童の状況に応じて、個別指導も取り入れながら実施しています。また、くるみ学級に在籍している児童は、一人一人の状況に応じて、本校の該当学年と交流学习を行うこともあります。例えば、運動会等の学校行事や、遠足などの校外学習で同じ学年の児童と一緒に活動しながら、学びを深めることもあります。

本市には、くるみ学級と同じ特別支援学級として、国立第二小学校のプラタナス学級があります。第二小学校の校長先生やプラタナス学級の先生方とも連携を図りながら、よりよい指導となるよう、努めています。様々な課題に真正面から向き合い、子供たちにとって安心・安全な居場所としてのくるみ学級になるよう、これからも本校の保護者の皆様はもちろんのこと、国立市内各小学校の保護者の皆様にもご理解をいただき、また、ご協力をお願いいたしてまいりたいと思えます。

## コロナ禍における現段階での対応

現在、新型コロナウイルス感染症における状況は、有り難いことに新規感染者等においても低い水準となっており、皆様も少し落ち着いた思いでいらっしゃることと思えます。

学校としては、以前お知らせしたお手紙が基本的な取組となっております。よくご覧いただき、ご理解をいただきたいと思います。他校との取組の違いがある場合もありますが、それぞれの学校状況や施設の違いもあり、各校の判断がありますので、ご理解の程、お願いいたします。

### 校長のつぶやき

～お読みいただき、ありがとうございます！～

校長室便りに取り組み始めて、今回でNo.7となりました。

これまで、主幹教諭時代や副校長時代、前任校での校長時代を含めて、私自身が感じていることやその時点での様々な情報を発信したいと思い、様々に取り組もうとしてきました。自身の多忙さや作成する環境がなかなか整わず、実現できませんでした。お陰様で、七小においてようやく校長室便りとして実現したというところです。

実は、先日の前任校での周年式典の際に、本校のホームページをご覧になっては、校長室便りを読んでくださっている先生がいることが分かりました。また、以前、指導していた合唱関係の教え子からも読んでくれていることが分かるメールをもらったり、本校の保護者の方からも、有り難いことによく読んでいただいていることをお知らせいただいたりと、改めて良いきっかけをいただけたことに感謝しているところです。

この校長室便りでは、保護者の皆様はもちろんのこと、地域の皆様、ご覧になった皆様に対して、本校の取組の内容だけに留まらず、これまでに学んだことや社会体験、経験等で得た内容や情報を発信すると共に、私の主観的な思いを通したものを書くこともあると思えます。基本的には本校校長としての責任の下に、できるだけ分かりやすくお伝えしようと思えます。心がけてまいりますので、ご一読いただけましたら幸いです。

